

パイン#3130防汚型

1. 系統 高分子塩化ビニル樹脂系亜酸化銅型水中防汚塗料
2. 特徴
- 1) 水中構造物への生物付着の防止効果に優れる。
 - 2) 乾燥性に優れる。
 - 3) 塗装作業性に優れる。
3. 用途
- 1) 火力発電所の冷却取・排水路壁面の生物付着防止塗装用。
 - 2) 取水路用各種機器類の生物付着防止塗装用。

4. 塗料性状

項目		内容			
容 姿		1 液性			
荷 姿		25kg			
色 相		赤錆色			
光 沢		つや消し			
密 度 (23℃)	塗 料	1.69			
	揮 発 分	0.87			
加 熱 残 分		70wt% (標準)			
乾 燥 時 間	温 度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指 触	30分	20分	10分	5分
	硬 化	1時間	45分	30分	30分
標 準 膜 厚		35μm			
引 火 点		SDS参照			
発 火 点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			
貯蔵安定期間(20℃)		6ヶ月			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- (1)密度 (比重) の大きな顔料を含有しているので、使用時には十分に攪拌し、均一な塗料状態にする。
- (2)被塗面の油脂、湿気、じんあいなどの有害な付着物は完全に除去する。特に、暗渠部の塗装では結露する場合が多いので、塗装前には表面乾燥状態を十分に確認する。
- (3)希釈にはパイン#3130溶剤を使用し、規定した希釈率の範囲内で希釈する。
- (4)使用量、膜厚は標準的な目安を示すものであり、被塗物の形状、塗装方法などの条件により変動する。
- (5)エアレススプレー塗装の場合は塗料を 60~80 メッシュの金網でろ過する。防汚効果を長期間継続するために、塗装回数は2回以上とし、規定膜厚を確保する。
- (6)塗装後の塗膜は出来るだけ直射日光を避ける。万一屋外に放置する期間が長くなる場合には、できるだけ没水時間に合わせた塗装工程を組むようにする。
- (7)塗膜の性質上、大変脆い皮膜です。塗装後はあて傷、擦り傷等が付かないように取り扱う。
- (8)塗料は有機溶剤を含有しています。閉所での作業では、法令に従って換気設備を設置し、取り扱いに注意する。
- (9)取扱い上の注意事項などの詳細説明は、別途「SDS」に記載していますので参照ください。

5. 塗装基準

項目		内容			
下 地 処 理		「施工上の注意」(2)参照。			
調 合 法		-			
塗 装 方 法		エアレス塗装、刷毛塗り			
使用シンナー		パイン#3130溶剤			
塗 装 法	塗 装 方 法	エアレス塗装	刷毛塗り		
	希 釈 率	5~10wt%	0~5wt%		
	標 準 使 用 量	0.22kg/m ²	0.18kg/m ²		
	標 準 膜 厚	35μm	35μm		
エアレス塗装条件	1 次 圧	0.4~0.5MPa(4~5kg/cm ²)			
	2 次 圧	12~15MPa(120~150kg/cm ²)			
		チップ No.163-719,721			
塗 装 間 隔	温 度	5℃	10℃	20℃	30℃
	最 小	3時間	3時間	2時間	2時間
	最 大	10日			
注 水 時 間*)		3時間		2時間	

*)注水時間とは、塗装完了後注水可能までの最短時間を示す。

7. 適合する塗料

下塗：パイン#51-72他

8. 関連法規

危険物表示	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	トルエン、キシレン、エチルベンゼン、メチルイソブチルケトン、ブチルアルコール、フタル酸ジ(2-エチルキシル)、亜酸化銅
劇物表示	-

9. 使用上の注意【警告】

- (1)引火性の液体である。
- (2)有機溶剤中毒の恐れがある。
- (3)健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。